



樹妙だより

No.207 2024/1



2年生修学旅行 (11/28 ~ 12/1)



明照学園 理事長
樹徳高等学校長
野口秀樹

新しい年を迎えました。
体も心も新しく生まれ変わるのです。

今年は十二支の辰年です。龍は変幻自在の特別な能力を持つ架空の動物です。そして首の下に如意法輪というなんでも叶える珠を持っています。龍は天高く舞い上がる。私たちも龍にあやかって、大きく飛躍する年にしていまいりましょう。

胸に手を当ててみると鼓動が伝わってまいります。

私の心臓は、70年以上休みなく働いてくれております。本当にありがたく感じます。これは私が生まれる前の母親の胎内にいるときから動き始めました。

そして1日に最大で10トンもの血液を送り出しているのだそうです。これが寿命が尽きるまで休むことなく続けられる。

私たち人間だったら「疲れた、疲れた」と悲鳴を上げてしまうでしょう。

また血管を流れる血液の速度は、時速216km、新幹線並みの速さです。

心臓のみならず、私たちの体は驚くほど計算され合理的に巧みに作られているのです。自分の人体の不思議を知るだけでも、人間は本当に謙虚になれます。

私たちを生かす力には神様でも、仏様でも、天でも、大宇宙でも、大自然でもいいのかもしれませんが、サムシンググレートが存在を感じずにはいられません。

これも不思議、あれも不思議、不思議不思議であります。

間違いなく私たちは大きな力を戴いて生かされている。これは誰にも否定できないことだと思います。

ならばこの人生を喜び最高に生き抜いていく、それが大いなる者から命を戴いた使命かと受けております。

皆様、今年も素敵な1年にしていまいりましょう。

合掌

本校の魅力、今とこれから



樹徳高等学校 副校長
野村 聡

新年あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中はご厚情を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

本校の拠り所である浄土宗は、令和6年（2024）に「開宗850年」を迎えます。浄土宗総合研究所の吉田淳雄氏によると、法然上人は平安時代の承安5年（1175）に、専修念仏の教えに対する確信を得て、「南無阿弥陀仏」とお念仏を称えることにより、すべての人が平等に阿弥陀様に救われるという道を説かれたそうです。令和6年は樹徳高校においても新しい歴史が始まり、画期となる予感があります。

現在、本校の魅力、特色として重点的に取り組んでいることは（1）探究学習の実践と（2）部活動の強化です。（1）探究学習では担当分掌である「進路研究」のスタッフが、毎週1時間実施の「総合的な探究の時間」で使用するオリジナルの学習指導案を作成し、その内容を学年会議等で教員が共有して、生徒の探究活動を同一歩調で支援しています。生徒からは「多くのことに疑問を持つようになった」、「他者の意見に耳を傾け、受け入れられるようになった」という声が寄せられています。そうした取組が評判となり、大手教育出版社の「ベネッセ」で先進事例として取り上げられるとともに、県内の公立進学高校からも学校視察の依頼がありました。（2）部活動では強化指定部を中心に顧問の熱心で的確な指導と生徒の主体的な活動により、令和5年度県高校総体において、男子が総合2位という輝かしい成績を挙げました。

令和6年度入学生からは、そうした取組を基礎にして、次のような本校の特色化・魅力づくりを考えています。（1）探究学習の深化・発展、（2）STEAM教育の始動、（3）多様な選択科目の開設を準備中です。（1）コース名を「進学探究コース」と「キャリア探究コース」に改称し、探究学習の目指すところの主体的・対話的で深い学びを、教科・科目の授業、そして学校全体への浸透を図ります。（2）STEAM教育とは、Sciences（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（人文科学）、Mathematics（数学）を融合した教育理念ですが、進学探究コースにおいて、その理念を見える化した「データ・サイエンス」という本校独自の新科目を設定するとともに、高

大連携講座の拡充や大学・研究機関への訪問など特色ある学校行事を企画しています。（3）キャリア探究コースにおいて、Jクラスに在籍する生徒の多様性を尊重し、学びに向かう意欲を高めるために、2年次より「キャリアデザイン系列」という新たな選択科目群を開設します。具体的には、①大学進学を目指す「リベラルアーツ系列」、②共に生きる力を育て、他者の役に立てることを目指す「メディカル・ビジネス系列」、③強化指定部の生徒が各分野のトップレベルを目指す「スポーツ・アート系列」で、2年間で4科目8単位を選択履修することになります。体験学習や資格取得等をととして、確かな進路選択を支援するとともに、部活動の強化に資する幅広い活動を目指します。

新しい取組は、本校の伝統を基盤にして展開することはいうまでもありません。大学受験のための模擬面接で、「本校の特色を教えてください」と質問すると、多くの生徒が異口同音に答えるのが朝のSHRにおける「信条」の唱和、「樹妙」の拝読であり、「挨拶」、「掃除」、「姿勢」、「言葉」、「動と静の交代脈動」を大切にする学校です。そして、教育目標の、誰かのためにお役に立つ「共生（ともいき）」という仏教の教えや、智慧のある「自主独立」を挙げます。こうした脈々と生き続ける伝統が、優しさあふれる善行をさりげなく実践することのできる、心豊かな生徒を育み、本校が地域に篤く信頼される所以です。そこに上述の新しい魅力を加えて、昇龍の勢いで本校の創立110年という節目を、今春に迎えることができればと願っています。



2年生修学旅行の写真より

「念頭の雑感」

あけまして、おめでとうございます。令和6年の正月を、つつがなく迎えられたことと思います。今年もよろしくお願いします。

さて、本稿を書いている筆者は3学年の副担任をしております。この時期、3年生は、多くの者が、あとは卒業を待つばかりです。みな、卒業後のことに思いを馳せ、「一人暮らしを…」とか、「あれとあれを買ったら…」とか、夢をふくらませているようです。そんな生徒を見る筆者は、「この子たちの顔を見るのもあと何日か…」と、やや感傷にひたる日々を送っております。

感傷にひたりつつも、子ども達の将来を心配してしまうのは、やはり職業柄でしょうか。夢を描いて楽しそうな生徒たちを見つつ、「この子は大丈夫だろうか?」「一人でやっていけるだろうか?」心配は絶えません。人生を「幼少期」、「青年期」、「老年期」と大きく三つに分け、「青年期」にいよいよ本格的に踏み込む彼らにとって、楽しみはもちろん、本当の悩み、苦しみを味わうのはこれからかもしれません。「幼少期」と「青年期」の切り替わりの時期にあたる「思春期」は、最も悩み多き時期といえますが、その「思春期」からの脱却を図らなければならないでしょう。

そもそも、人生に悩みや問題は尽きないものではありますが、その中でも「対人関係」は最たるものです。まだまだ周囲を客観的に見られず、孤独や淋しさ、やりきれなさを感じ、本当に自分を理解してくれる誰かを求めずにいられなくなります。兄妹も、先生も、自分のことをわかってくれない。誰か理解してくれる人が欲しい。心の友達を求めずにいられない。高校生位の年齢なら特に、だと思います。漠然とした不安が常につきまとい、自分の価値を認めてくれる誰かによって自分自身をはっきりつかみたい、といった気持ちになる。これは言うなれば、自らを確立したい、という心理なのですが、これが一層孤独を際立たせ、心の友だち「親友」を求める理由となるのです。

親友は、互いを理解し合うもの。理解とは長所も短所も、良い点も悪い点も認め合う存在です。

その上で相手に敬意を持ち、全幅の信頼感を互いに持ち、絶対に裏切らない、という間柄です。また、親友との心のふれあいをこそ、「友情」と呼べるのであり、その心と心の交わりは精神的な距離を保ち、相手を拘束しない「自由」を認め合うこと、「君は君の道を行け。私は私の道を歩もう」と言い合える関係でもあります。相手とひとつになろうとする愛情とも違う。「友情」は最も美しい人間関係であると言えます。

高校時代は、仲間を親友と思い違いしやすい時期です。仲間とは、趣味や関心を中心に結ばれ、趣味や関心が変われば離れてしまうものです。しかし、この時期こそ、利害にとらわれず、純粹に人を愛したり、憎んだりできる、人生の中で最も友情を育み、親友を作れる時期でもあります。残り少ない高校生活の一日一日を大切にし、よき親友との時間を充実したものにして欲しいと思います。

(編集子)

一月の法語

大切なことを忘れていませんか
皆、昔は子供だったのです



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

予定は特にありません。

2年生修学旅行特集

これまで本校では伝統的に京都方面への修学旅行を実施してきましたが、令和3年度からは平和学習を主眼とした、沖縄方面への修学旅行に改編される予定でした。しかし、コロナ禍のため、昨年度まで北陸3県や京都方面での修学旅行となりました。

今年度は、予定通り初めての沖縄の修学旅行を、11月28日～12月1日の3泊4日で行いました。その様子を、生徒が撮った写真でお送りします。



写真提供に協力してくれた人（敬称略、表紙等含）

2年J2組 諏訪倫琉

2年J7組 小松瑠侑夢 武井千里菜

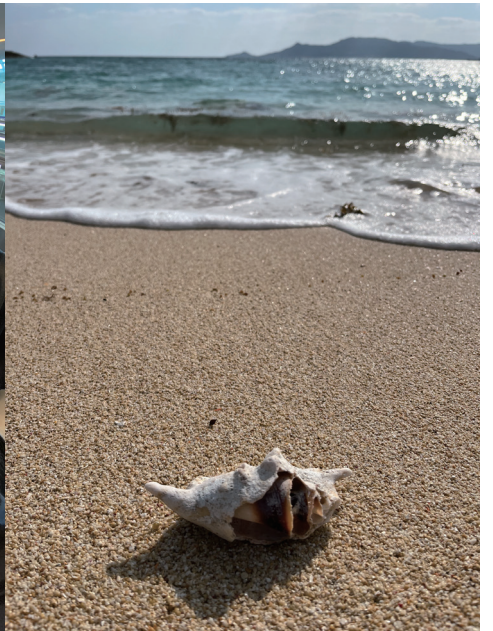
2年K組 阿久津早希 齋藤沙奈 吉田麗愛 星野桜穂

2年S組 恩田葉奈 亀田埜乃花 竹内純功 田島優安

富宮悠月 真尾紀帆 山内煌大 滝口空良

他にも多くの写真を提供してもらいました。

ありがとうございます。



一貫校中学校だより

◆部活動での活躍

昨年8月の全国中学校卓球大会（全中）に出場し、11月の全日本卓球選手権大会カデットの部14歳以下男子シングルス（カデット）ではベスト16に入った長谷川煌（2年）に振り返りをしてもらいました。

○3年連続で出場した全日本カデットで初めてベスト16に入りましたが、今回ベスト16に入った要因は？

ー今回が最後のカデットということで、1年前から気を引き締めて準備してきました。色々な人からアドバイスをいただきながら、苦手な技術を徹底的に練習し、苦手を無くすように努力してきました。

そのため、カデット前の県中学校新人卓球大会でも優勝することができ、良い状態でカデットを迎えられたというのが大きな要因だと思っています。また、夏の関東中学校卓球大会でベスト16に入って全中に出場できたりと、自分の中で自信がつくようなことがたくさんあり、思い切って試合ができたものの良かったです。

○今の練習で意識していることを教えてください。

ー全中でも岩井田（カデット優勝者でベスト8決定戦で長谷川が負けた相手）戦でも、全体的に戻りが遅く、岩井田戦では返球に反応ができなかったということが多くありましたので、最近では自分の中で戻りを速くするよう意識しています。フォアの技術もまだまだ未熟なので、フォアで動く練習とフォアで決める練習を戻りの練習と一緒にしています。また、岩井田選手はサーブの技術も質が高く、回転も分かりにくく、サーブの長短の差が激しいため、レシーブミスが重なってしまいました。そのため、色々な回転に対して対応できるように、レシーブ練習も行っています。それに加えて、テスト期間以外は毎朝必ずサービス練習をするように意識しています。

○最後に今後の目標をお願いします。

これから、戻りとフォアを徹底的に練習し、全中ベスト8以上に入って、将来、実業団に入り、プロとして戦えるように頑張っていきたいと思います。

○ありがとうございました。



岩井田戦の様子①(奥：長谷川)



岩井田戦の様子②(手前：長谷川)



文章：樹徳中卓球部

◆総合学習の時間

毎週水曜日の総合学習の時間に中学1年生から3年生が全4回の“発想の宇宙に旅立とう！”プログラムに参加しました。

第1回、2回ではお面の作成や絵を描く活動を通して、自分ではない何かに変身し、視点の多様性を発見していました。

第3回、4回では意味のない図形を何かに見立て、絵で表現したり、物語を作る活動をおこないました。柔軟な発想で、生徒一人ひとりが個性を生かした作品を作り上げることができました。

幼稚園だより

◆2024年も充実した幼稚園生活 となるように

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますように、お祈り申し上げます。今年も樹徳幼稚園をよろしく願っています。

さて、3学期が9日（火）よりスタートいたしました。今年度もいよいよ残り3か月となります。2024年の干支は「辰（たつ）」。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。樹徳幼稚園の子どもたちが、いろいろな教育活動に明るく元気いっぱい取り組み、充実した幼稚園生活を送れるよう、職員一同支援していきたいと思います。



オープニング～年長組による歌
『Mary Had A Little Lamb』

◆通常に戻った「なかよし発表会」

12月16日（土）、幼稚園の一大イベントである「なかよし発表会」を、樹徳高校勢至ホールにて開催いたしました。この発表会については、コロナ禍の間は感染拡大防止のために学年ごとに開催日を変更して、幼稚園の遊戯室で実施してきましたが、昨年度は参観するご家族の人数を制限しながらも、3年ぶりに樹徳高校勢至ホールでの開催に戻すことができました。昨年度の閉会の園

長の挨拶の中で、「来年度は、孫の頑張る姿をおじいちゃん、おばあちゃんにもぜひ観せてあげたい。早くそんな世の中に戻れることを願っています」と話しましたが、やっと今回の発表会では、人数制限も無いコロナ禍前の通常の形で開催することができました。

10月の運動会が終わると、「なかよし発表会」の練習が始まります。教室や遊戯室から子どもたちの元気な歌声や楽器の演奏の音がほぼ毎日園長室に聞こえてきます。お父さんやお母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃん、お兄ちゃんやお姉ちゃんにも自分の発表を観てもらいたいと、本番を目指して毎日一生懸命練習に励んできました。発表会場の勢至ホールで行われた前日のリハーサルでは、舞台上に立つ子どもたちから、ひしひしと緊張感が高まっている様子が伝わってきました。

そして当日。たくさんの保護者がカメラやビデオを構えている様子をステージ上から目の当たりにすると、緊張感は最高潮。

発表のオープニングは年長組による英語の歌「Mary Had A Little Lamb」で始まり、各学級の劇へと続きます。2歳児・満3歳児組の劇「うさぎとかめ」、年少組の「くすのきだんちは10かいだて」、年中組の劇「おむすびころりん」、年長組の劇「北風と太陽」の順で披露されました。どの発表も大きな声ではっきりとした言葉、そして大きな動きで、観ている人たちに感動を与えます。そして、休憩を挟んで、各学級によるリトミックや歌、合奏が行われました。それぞれの発表から、学級の子どもたち同士の絆が深まり、気持ちを一つにしてやり遂げようという思いがしっかりと伝わってきます。これまでの練習過程には、いろいろなことがあったと思いますが、それを乗り越えて、大きなホールで大勢のお客さんの前で発表できたことは、子どもたち一人一人の大きな自信へとつながったと思います。そして、最後まで参観していただいた保護者の皆様にとっても、自分のお子さんがここまで発表できた驚きや成長の喜びで、心を動かされたのではないのでしょうか。

今回、ご来場いただきました皆様のたくさんの声援に感謝するとともに、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

園長 佐野 悦生



年長組による劇「北風と太陽」



年中・年長組による合同合奏
『宇宙人のテレパシー』

入園児募集中

- ◎2歳児・満3歳児・3歳児の入園をお待ちしております。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- 入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

1月(持戒)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	月	元日 悔過修正会	元日	元日 年末年始休業日
2	火	職員休暇 年始挨拶訪問		年末年始休業日
3	水	職員休暇		年末年始休業日
4	木	推薦・学奨入試打合せ会議		預かり保育⑤ 仕事始め 安全点検日
5	金	始業式(大掃除・学年別一斉指導) 入試会場作成 授業料納入日	始業式	預かり保育⑥
6	土	推薦・学奨入試試験(出勤日)	推薦・一般入試	開園日(預かり保育)
7	日	推薦・学奨入試試験採点日		
8	月	成人の日 (推薦・学奨入試試験採点日)	成人の日	成人の日
9	火	振替休日(1/7)		3学期始業式 園内清掃(年長保護者) 読み聞かせ
10	水	探究・LHR マイトリー基金拠金日 県校長会 大学入学共通テスト直前演習(～11日)		保育料納入日 英語・文字(年長)
11	木	校内書き初め大会 推薦・学奨入試試験審査準備会 推薦・学奨入試試験審査会		体育・文字(年中)
12	金	大学入学共通テスト出陣式	中学進研学力推移	
13	土	大学入学共通テスト1日目 1・2年ベネッセ総合学カテスト		開園日(預かり保育)
14	日	大学入学共通テスト2日目		
15	月	鏡開き 運営委員会⑤ 大学入学共通テスト自己採点	高校校内書き初め大会	リズム・線(年少)
16	火	日私中高連常任理事会 校内研修(いじめ防止④)		文字(年長)
17	水	探究・LHR 中高協会定例会(高崎商科)		お茶のお稽古⑥(年長) 英語
18	木	推薦・学奨入試試験合格発表日		体育・文字(年中)
19	金	制服アフターサービス	三越アフターサービス	お誕生会(12・1月生)
20	土	英語検定③一次	英語検定	開園日(預かり保育)
21	日			
22	月	朝礼 国公立大出願検討会 学年主任会⑨		リズム・線(年少)
23	火	(推薦・学奨入試追試験)		ボール投げ教室③ 読み聞かせ
24	水	卒業試験(～26日) 1・2年生中間試験(～26日)	中学中間試験(～25日) 高校中間試験(～26日)	私立保・幼・認可園長事務連絡会議 英語
25	木	法然上人忌 県高P連次年度役員候補者推薦委員会(生涯学習センター)		体育・文字(年中)
26	金	大掃除 出欠統計提出 (推薦・学奨入試追試験会場作成) (書写技能検定③)		
27	土	第1回入学手続き(出勤日)		開園日(預かり保育)
28	日	(推薦・学奨入試追試験)		
29	月	教科主任会⑧ (推薦・学奨入試追試験審査準備会)		リズム・線(年少)
30	火	(推薦・学奨入試追試験審査会)		
31	水	探究・LHR 1・2基礎力診断テスト(J) 2年生ベネッセ大学入学共通テスト(～2/3)		英語・文字(年長)



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく